

事業番号	事務事業名	新規就農奨励事業費	所管課名	産業観光課	令和 2 年度課長名	小椋 正己
02952	政策名	2 地域経済を支える里づくり	係名	農政係	担当者・シート作成者	山口 祥司
	施策名	21 農業の振興	根拠法令等	鏡野町新規就農奨励事業実施要領		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	就農奨励金交付対象者(要件有)に対する補助金を支給する事業である。 要件①将来にわたり専業(年間従事日数がおおむね200日以上)として、農業経営を続けていく意思と条件を有すること。②年齢が就農開始年度始めにおいて、15歳以上40歳以下であること。③夫婦で該当する場合は、いずれか一方のみに交付するものとする。④町内に住民票を有するとともに生活の実態があり、今後も居住し続けること。以上の要件に当てはまる者に対し3年間で総額1,000千円を奨励金として支給する。※1年目400千円、2年目300千円、3年目300千円 (業務の内容)①交付申請書の受理、②交付申請書の審査、③激励会の開催、④奨励金の支払(3年間)	本町では、後継者がいないこと等により離農する農家が増える傾向が続くものと見込まれ、新たに農業経営を目指す者が農業経営を始める際に奨励金として支給し、本町農業の担い手確保及び農村地域の活力保持を図る必要があった。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 15歳以上40歳以下の新規就農者	ア 新規就農者数	人	見込 実績	2 5	2 3	2 4	2	2
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 新規就農者を確保し、自立し優れた経営の地域農業の担い手へ成長させる	ア 新規就農者数	人	目標 実績 達成率	2 5 250.0%	2 3 150.0%	2 4 200.0%	2	2 200.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 新規就農者として事業対象になった者への奨励金の支払(1年目~3年目)	ア 奨励金の支払い	人	目標 実績 達成率	5 4 80.0%	5 3 60.0%	5 4 80.0%	5	5 80.0%
イ 激励式の開催	イ 開催回数	回	目標 実績 達成率	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1 1 100.0%	1	1 100.0%
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01 一般会計	款 06 農林水産業費	項 01 農業費	目 03 農業振興費	大事業 27 中事業 03	予算上の事業名	02952						
	新規就農奨励事業費					02952							
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比
国庫支出金							国庫支出金						
県支出金							県支出金						
町債							町債						
その他特財							その他特財						
一般財源	1,700	1,000	1,400	1,300	1,300	400	一般財源	1,300	1,000	1,400	1,300	1,300	400
合計	1,700	1,000	1,400	1,300	1,300	400	合計(A)	1,300	1,000	1,400	1,300	1,300	400
財源名称	従事正職員人数						1	1	1	1	1	1	
	延べ業務事務時間						12	35	35	35	35		
	人件費計(千円)(B)						41	123	117	117	117	-5	
最終予算額		1,400千円	予算執行率		100.0%	トータルコスト(A+B)		1,341	1,123	1,517	1,417	1,417	395
主な支出事業内容(予算)	負担金補助金及び交付金						1,400千円						
	主な支出事業内容(決算)						負担金補助金及び交付金						1,400千円

事業番号	02952	事務事業名	新規就農奨励事業費	所管課名	産業観光課
------	-------	-------	-----------	------	-------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 国の新規就農者向けの交付金は近年、要件が厳格化している。 また、本事業の開始時期と比べて、農業従事者数等が好転しているとは言えない。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 改革改善は行っていない。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 一部住民より、対象年齢の引き上げの意見あり。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	新規就農者の育成により担い手を確保することは、政策体系に結びつく。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	町農業の振興を図るうえで担い手を育成することは行政の役割であり、妥当なものとする。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	鏡野町内で新規就農する者に対する助成であり、妥当である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	新規就農者の確保・育成に一定の効果があるものと考えられる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	廃止した場合、新規就農者が減少する可能性がある。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	交付金の支払事務、激励式開催業務のみであり、改善余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	交付金を主な手段としており、削減は難しい。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	県などの関係機関や、後継者クラブなどの関係団体と情報を共有して新規就農者の情報収集を行っており、効率的な事業遂行に努めている。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	岡山県新規就農研修ガイドブックに本制度を記載する等、周知を行っており公平・公正である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	鏡野町独自の支援施策であり、新規就農を検討する者に対して呼び水となっている。また、関係機関及び関係団体と連携して新規就農者の掘り起こしに努めており、新規就農者の確保に一定の効果がある。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 就農後も、農地や特産品の担い手として成長を促すため、関係機関と連携して対応していく。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> (廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								